

平成 30 年度 第 1 回防府市中小企業振興会議 会議録

日時 平成 30 年 8 月 3 日 (金) 10 時から

場所 市役所 4 号館 3 階 南北会議室

出席委員 12 名

欠席委員 1 名

事務局 9 名

1 開会挨拶

【市長】

本日は、御多忙の中、防府市中小企業振興会議へ御出席いただき感謝する。

中小企業者を取り巻く環境は、経営者の高齢化や人手不足の深刻化等、厳しい状況であると認識している。そのような中、生産性向上特別措置法が本年 6 月 6 日に施行され、今後 3 年間の集中投資期間中に、中小企業者が行う設備投資に対する様々な支援が行われることとなった。法の施行に伴い、市税条例の改正により、設備投資に係る償却資産税を「ゼロ」とする特例を規定し、中小企業の実産性向上を通じた本市経済の活性化に取り組むこととしている。

私は、市政運営にあたり「明るく元気で豊かな防府市」をスローガンにしているが、そのためには中小企業の皆さんが元気でなければならないと考えている。

本日は、昨年度の事業実績を踏まえ今後の中小企業振興施策の参考にさせていただくため、皆様から忌憚のない御意見を賜りたい。

○ 会議成立の報告

【事務局】

13 名の委員中、12 名の出席で、防府市中小企業振興会議規則第 3 条第 2 項の規定に基づき、本会が成立していることの報告。

○ 会議の公開

【事務局】

防府市中小企業振興会議規則第 3 条第 4 項の規定により、本日の中小企業振興会議は公開とする旨の報告。

2 景気観察指標について

【事務局】～ 景気観察指標を基に説明 ～

山口県中小企業団体中央会の景況感調査では、山口県の中小企業は人出不足が益々深刻化しており、人件費の上昇や受注機会の損失につながっているとあり、全国地方銀行協会の山口県全体の景気動向調査を見ると、緩やかに回復しているとなっている。これらのことから、防府市の景気についても、人手不足が及ぼす影響や、円相場の変動が輸出に及ぼす影響等注視しなければならない状況である。

【会長】

防府市の景気について委員の皆さんと現状を確認する。景況感等、ご意見等あれば伺いたい。

【A委員】

住宅着工件数が昨年度に比べて増加しているが、不動産業界の景況感は、ここ数年状況は変わっていない。消費税率の引上げ前の駆け込み需要を期待している。

【B委員】

小売業であるが、インターネット販売を中心に事業展開している。ネット販売の状況は変わらないが、店舗販売は芳しくない状況。

【C委員】

融資については、消費税率の引上げ前の駆け込み需要により、住宅の融資件数が増加傾向にある。中小企業の設備投資は下火傾向にあるが、運転資金の相談は増加している。

【D委員】

マーケットそのものが小さいため県内を対象とした売上増加は難しい。物流の課題もあるが、首都圏を対象としたマーケットの拡大が必要。

【E委員】

庭に木を植えないお宅が増えて、花屋も減少している。消費者の動きを捉えた事業展開が必要。

3 平成29年度中小企業振興施策の実施状況について

【事務局】 ～ 平成29年度中小企業振興施策の実施状況の資料を基に説明 ～

【会長】

ただ今事務局から説明のあった施策について、委員からのご意見を求める。

【D委員】

様々な施策があるが、各事業所はこういった中小企業支援施策自体を知らないところが多い。特に小規模事業者は知らない場合が多い。中小企業退職金共済制度などは、とてもよい制度だが知らなかった。市の施策と国・県の施策の情報を一元化して、きちんと伝わる仕組みづくりが必要ではないか。

【会長】

創業支援補助金については、補助対象事業者が平成28年度は11事業者、平成29

年度は12事業者と増えている。平成29年度の創業者数は43件であることから、予算配分の検討が必要と思われる。売れるものづくり支援事業補助金については、平成28年度は補助対象事業者が3事業者、平成29年度は6事業者と増えているので成果がでているのかなと思う。地場産業育成経費については、コンパクトな運営に努められていると思う。空き店舗活用促進事業補助金については、補助額が減少しているが、空き店舗の活用が難しい面があるのかと思う。

【F委員】

空き店舗の老朽化が著しいため、出店に結びつかない状況が見受けられるが、古い建物をリノベーションして新たな活用をしている若者のグループもある。創業の業種も、モノとコトの消費の中間である飲食業、理美容業の開業が増えている。

【会長】

中小企業人材育成支援事業補助金について、中小企業大学校へ社員を派遣した場合の受講料の一部補助制度であるが、平成29年度の新規事業で補助対象事業者が1事業者のみであった。研修が魅力的でないのか、周知が行き届いていなかったのか…。

【事務局】

平成29年度新規事業であり、周知が行き届いていなかったと思われる。

【会長】

女性の活躍応援・人材確保事業について、事務局から補足説明があるか？

【事務局】

平成29年7月にイオン防府店に「ほうふ女性しごと応援テラス」を開設し、昨年度の登録者数は147人、そのうち、進路が決定したものは58人であった。

【A委員】

女性の活躍応援・人材確保事業は、NPO法人へ委託して事業を行っているが、定年退職後の女性の活躍応援が必要だと感じる。特に、創業支援、幅広い年代を対象とした創業支援が必要。

4 平成30年度中小企業振興施策について

【事務局】～ 生産性向上特別措置法に係る中小企業の設備投資支援について
資料を基に説明 ～

防府市導入促進基本計画において、本市内全域・全業種を対象、20件程度の先端設備等導入計画の認定を目標としている。先端設備等導入計画の認定事業者に対しては、固定資産税(償却資産税)が3年間ゼロ、国の補助金の優先採択や加点といった特例や支援措置がある。

【事務局】～ 中心市街地活性化事業について資料を基に説明 ～

中心市街地活性化計画案の作成のため、中心市街地の居住者を対象としたアンケートを実施予定である。中心市街地活性化協議会のビジョン案と市の施策と連携を図りながら計画案を作成していきたい。また、中心市街地活性化の担い手を掘り起こすため、ワークショップ等を実施する。

5 その他

【事務局】～ 平成29年度防府市の工事・役務・物件契約における中小企業者の受注状況について、資料に基づき説明 ～

【事務局】～ 新たな中小企業支援機能について説明 ～

7月市議会において全事業ゼロベースでの見直しとの市長所信表明があった。前回の振興会議で御意見をいただいた、f-B i zモデルによる高度なコンサルティング機能である中小企業支援機能の本市への導入についても、財政状況やこれまでの経緯を踏まえ今後検討していく。

【会長】

その他各委員からご意見やご報告があればお願いしたい。

【副会長】

山口県立大学へ地域デザイン研究所を開設した。地域資源やデザインのアーカイブと情報発信、地域で活躍する人材教育への活用等を行う。産学公連携型で行うことも可能であり、地域振興として御活用いただければと思う。

【会長】

以上で平成30年度第1回中小企業振興会議を終了する。

会議終了 11時35分